



**特別号 弘前大学 学生新聞**  
 学生自らが大学を広報する  
 ボランティアサークル  
 「Hub's」が取り組みました。  
 協力／北海道新聞社

# 弘前大学で学問を究めよう

大学生にはいずれ研究室配属がある。しかし、研究室といわれてもあまり想像がつかないだろう。そこで、農学生命科学部生物学科発生・生殖生物学研究室の小林一也准教授と理工学部地球環境防災学科自然防災工学分野地震学研究室の小菅正裕教授のもとを訪ね、研究室とはどのようなところか聞いた。

## 農学生命科学部

### 若い時にタフなチャレンジを

小林一也准教授はプラナリアの有性化現象の解明を目標として研究している。プラナリアの研究は弘前大学が先駆けとして始まっており、約60年間代々受け継がれてきた伝統ある研究だ。現在、研究室には大学院生が2人、4年生3人、3年生3人で8人の学生が所属している。

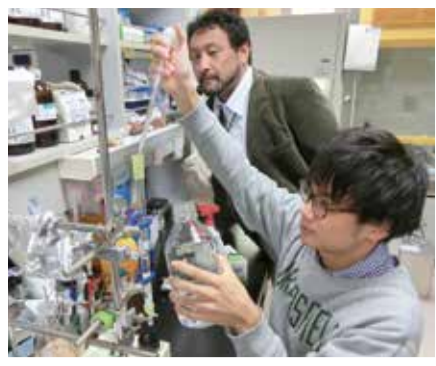
小林先生は北海道出身で弘前大学の卒業生でもある。学生の時にいろいろな先生に協力をしてもらった経験が、学生に不自由なく研究ができるよう機器や試薬の充実など支

援を欠かさないことにつながっている。

学生は初め仮テーマを2、3つ決めて器具や実験に慣れることから始める。小林先生は、学生本人が楽しみながら研究をして、さらには研究室が目的を共にしてお互いに成長できる集団になればと考えている。学生が将来就職する際に研究室で学んだことが活かされるためにも「若いうちにかかるといい」と話している。

20代前半は人間形成においても感性や自分のペースを築き、身も心も大人になる時期である。そうした時に将来役に立たなくてもこの時しかできないことをenjoyするべきだ」と話す。

君が何かに没頭することができる環境がこの弘大研究室にはあるのではないか。



## 理工学部

### 「オン・オフの切替が重要」

### 広い視野持ち、自分を高めて

小菅正裕教授は現在、誘発地震について研究している。様々な研究を行っており、学会で発表する研究を優先的に進めている。

学生の研究室配属は地球環境防災学科では3年生の後期の仮配属を経て、4年生で本配属になる。しかし配属になつてすぐに研究が始まるわけではない。学科の講義で専門の勉強はしているが、研究で必要となる技術や知識はまだ不十分だ。小菅研究室では4年生の前期では、地震学の研究をやる上で必要になる知識や技術などを習得する事が

メインになる。研究自体は4年生の後期から始まる。学生の研究テーマは、「高精度震源決定」などである。

研究室配属とともに、4年



## 考古学ってどんな学問？ モノから過去の事実を探る



人文社会科学部文化創生課程文化財論研究室の関根達人教授が2016年、岩手県奥州市で伊達家重臣の墓から、婚礼に使われる「女乗り物」を発見した。また第6回の日本考古学協会賞大賞を受賞するなど数多くの功績を残している研究者の一人だ。関根先生は考古学と文化財が専門で、

現在では日本海交易の歴史について解明するために、福井県で墓石の調査をしている。ここではアイヌ民族にまつる考古学研究についてお伝えしよう。

アイヌ民族は文字を持たず彼らが遺した資料がないため、モノ資料と呼ばれる遺物からすべての情報を読み取る

## 大正期の「弘大カフェ」へ行こう

洋風建築

大学構内にある旧制弘前高等学校外国人教師館(国登録有形文化財)を店舗として活用した「弘大カフェ」が2016年6月にオープンした。同



### 「弘大カフェ」のロゴデザイン 今井さんの作品に

「弘大カフェ」のオープンに伴い、ロゴデザインのコンテストが開催された。そこで最優秀賞に輝いたのは、教育学研究科教科教育専攻美術教育課程デザイン分野1年の今井紗有里さんだった。

今井さんは教育学部生涯教育課程芸術文化専攻を卒業後、社会人として東日本大震災の被災地にて子どもたちのため3年間、NPOで活動を



「入り口の大小の看板やマットに使ってもらえていることが素直に嬉しい」と語っていた。今井さんはデザインに対して「伝える」ということを第一に心がけ、シンプルで見やすく、伝わりやすいデザインをコンセプトにしている。

館は大正時代に建てられた二階建ての洋風建築物で、店内にはテーブルとカウンターの全34席を用意。隣接した庭にオープンテラスも設けられている。店内の椅子やロゴマークのデザインは教育学部の教員や学生が担当した。運営は市内のコーヒー店に委託している。

メニューはフレンチコー

ヒーを使ったコーヒードーナツとケーキのほか、ランチタイムには県産食材を用いたランチプレート、特製のバジルソースが美味しいサンドウィッチなどがある。

松山貴行店長は「新メニューとして弘前大学で開発したりんご『紅の夢』を使用したスイーツを考えている。サークル活動にもカフェをもっと活用してほしい」と話す。営業時間は午前10時〜午後7時で日曜日定休。

現在も大学関連のポスターデザインを製作している。将来は様々な「教育」に関する分野で活躍し、デザイナーとして知識を深めていく道を目指していきたいと語っていた。

## 岩木山

忙しい中で協力してやっとならなれた二度目となる学生新聞。ほっと一息、メンバーから一言です。

頼本隼汰 ● 先輩と共に良い経験と思い出ができました。

小杉奈央 ● 四年生んだけど弘前と小樽は似てる。

佐々木尚志 ● まさか二年目もあるとは思わなかった……。

清藤慎一郎 ● 鴨や鯉：可愛いです。ね。土淵川にいます。

高木雄基 ● 弘前大学で、そしてこの弘前で夢を掴もう！

坂下伶菜 ● 進路について考えるいい機会になりました！！

櫻庭夏海 ● 取材のため関係者以外立ち入り禁止の先へ。

森明日香 ● 撮影技術の向上に努めることができました！

小西歩実 ● 取材したり記事を書いたり楽しかったです！

飛石ゆうき ● 協力して記事を完成させることが出来ました！

村山祐見 ● 弘大カフェに訪れてみてほしくなりました！